

動物の診察室から

〇 56 〇

7月初め、1頭の盲導犬が新潟へやって来ました。その子の名前は「フイズちゃん」。2歳になる女の子です。フイズは北海道の盲導犬訓練所でトレーニングを受け卒業しました。そして、新潟市のユーザーKさんと初めて暮らす「盲導犬の1年生」です。

一方、Kさんにとって、フイズは3頭目の盲導犬になります。盲導犬はレトリバーなどの大型犬がなるのですが、大型犬の寿命は13歳ぐらい。8歳を過ぎると後足の筋力が弱り引退となります。Kさんの初めての盲導犬はシェル、2頭目はターシャでした。2頭とも性格がよく、優れた盲導犬でした。Kさんはシェルやターシャと一緒に、

いろいろな所へ出掛けました。ターシャとは一緒に富士山に登り、海外へも出掛けました。でも、そんなターシャが8歳になり引退することになったのです。ターシャは家の中はもちろんです、外に出るときもKさんといつも一緒に歩きました。ただ、旅行などどうし



あいさつに来てくれたフイズちゃん

# 守り役 3代目にバトン

## Kさんと盲導犬

でも一緒に行けないとき、私の病院でお預かりし、時々シャンプーをしていました。6月の終わりごろ、ターシャは北海道へ帰ることになっており、その前にシャンプーの予約が入っていました。いつもスキは大喜びしてくれま

すが、当日は車の都合で私が送迎しました。Kさんの家の玄関を開けると、ターシャは、玄関まで走ってきてあいさつをしてくれました。盲導犬は、はしゃいではいけません。ターシャと私はこの日でお別れでした。ターシャはそれを知っていたの

て、当日は車の都合で私が送迎しました。Kさんの家の玄関を開けると、ターシャは、玄関まで走ってきてあいさつをしてくれました。盲導犬は、はしゃいではいけません。ターシャと私はこの日でお別れでした。ターシャはそれを知っていたの

です。「長い間、頑張ったね。いい子、いい子」と頭をなでると、「くうーん、くうーん」と答えました。しばらく、Kさんとこれまでの思い出話をしながら、ターシャの頭をなでました。その間、ターシャは鳴いていました。普段、私が送迎することはないのに、この日はターシャが私を呼んでくれたのです。でも、お別れです。ターシャ、ご苦労さまでした。北海道へ行ってもみんなにかわいがってもらってください。そして、盲導犬1年生のフイズちゃん。Kさんの目を守ってあげてください。

草村 正人 (獣医師・新潟市)

＝第2・4木曜掲載＝